

原爆落下中心碑前で鎮魂歌

米国の高校生合唱団

本県の高校との交流などで来日中の米国カリフォルニア州テメキュラーバレー高校の合唱団一行二十一人が二日、長崎市松山町の原爆落下中心碑前で、原爆犠牲者に鎮魂歌をささげた。

「長崎で哀悼の意を」

願いかなう

「被爆地長崎で哀悼の意を表したい」との希望がかなった生徒たち。平和を祈り、「みんなが集まり一つになれば、平和は訪れる」という内容の鎮魂歌など三

という思いとともに、わたしたちが歌うことで、世界中が平和になるのではないかと気が持ちがこみ上げてきた」と穏やかな表情を見せた。

一行は、合唱に先立ち長崎原爆資料館を訪れ、被爆の実相にも触れた。

引率者の一人でコーラスの指揮をしたディーン・アーモドさん(四三)は「生徒たちがこの経験や感じたことを、家族や周りの友達に伝えてくれることを期待している」と話していた。



中心碑前で鎮魂歌などを合唱するテメキュラーバレー高校合唱団

|| 長崎市松山町、爆心地公園